

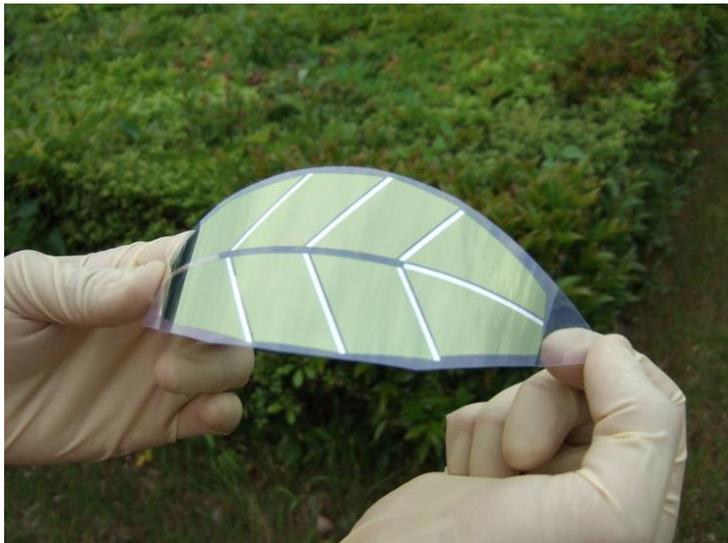
有機薄膜太陽電池の 結晶成長制御

宮寺哲彦

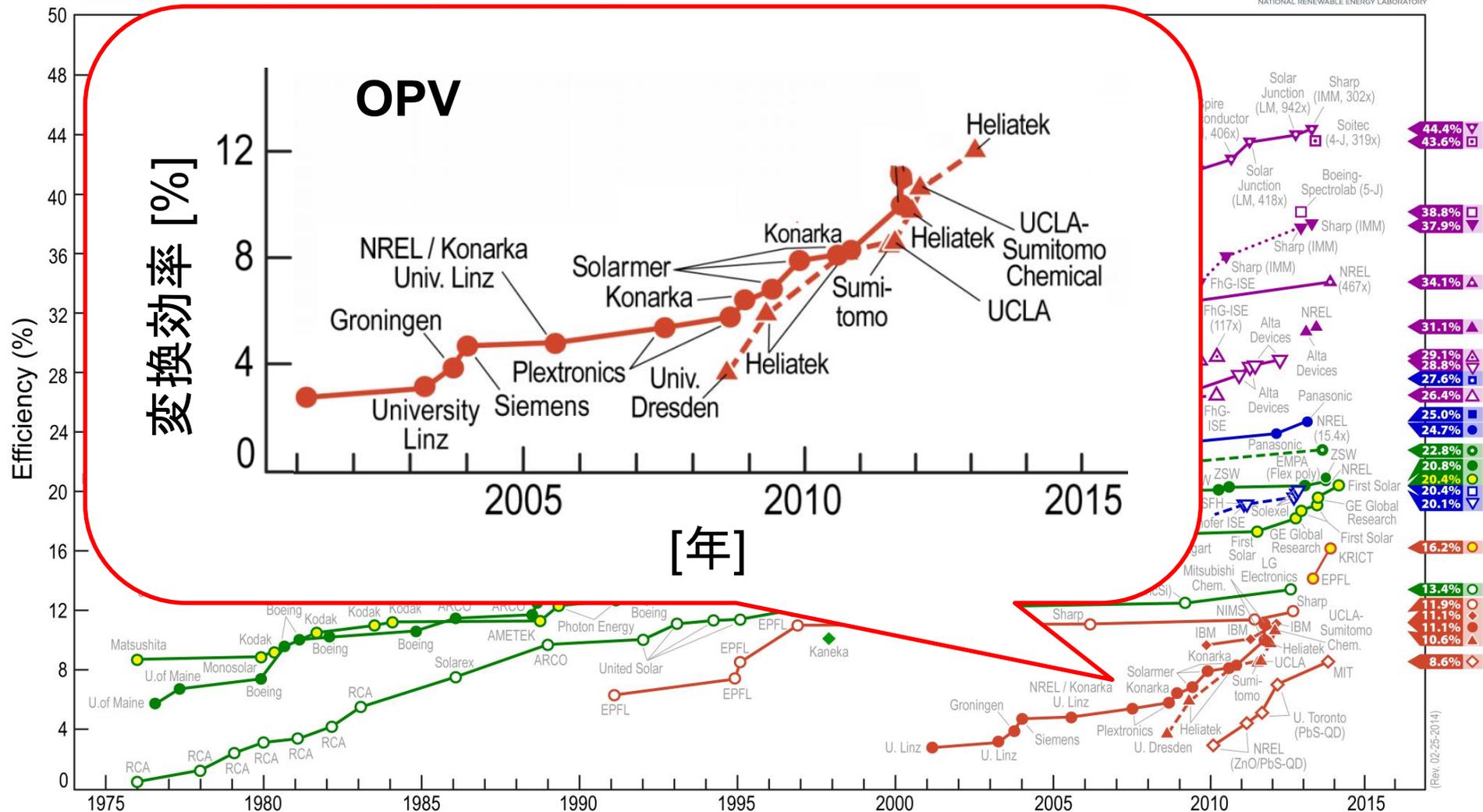
有機系薄膜チーム

有機薄膜太陽電池 (OPV)

低コスト・フレキシブル・意匠性

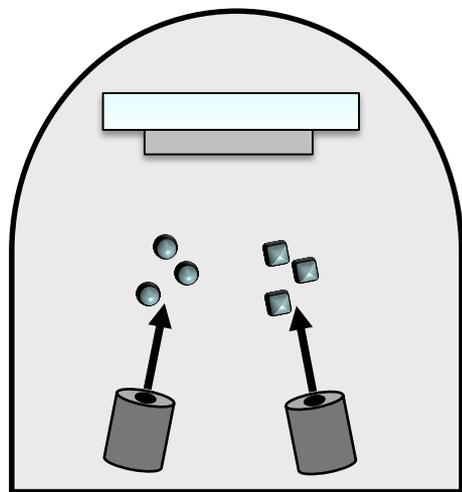
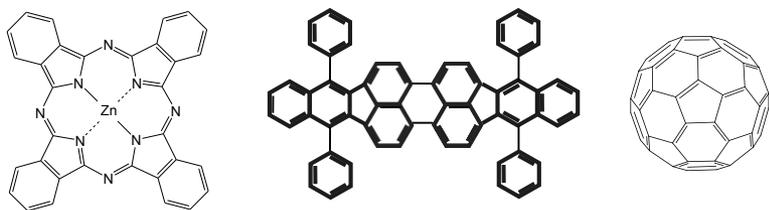


Best Research-Cell Efficiencies



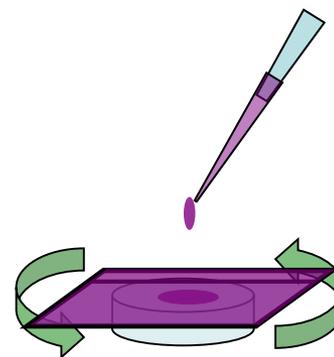
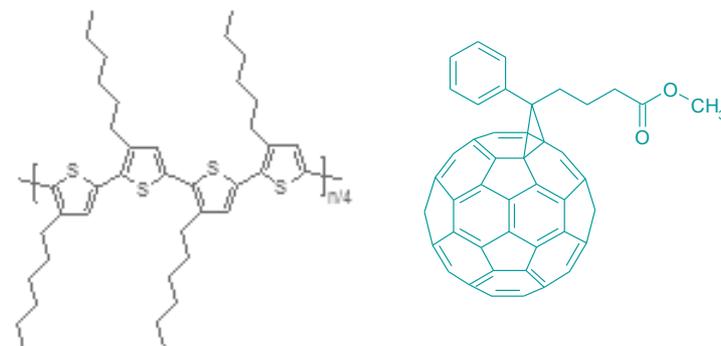
素子作製方法

低分子系有機半導体



真空蒸着で作製

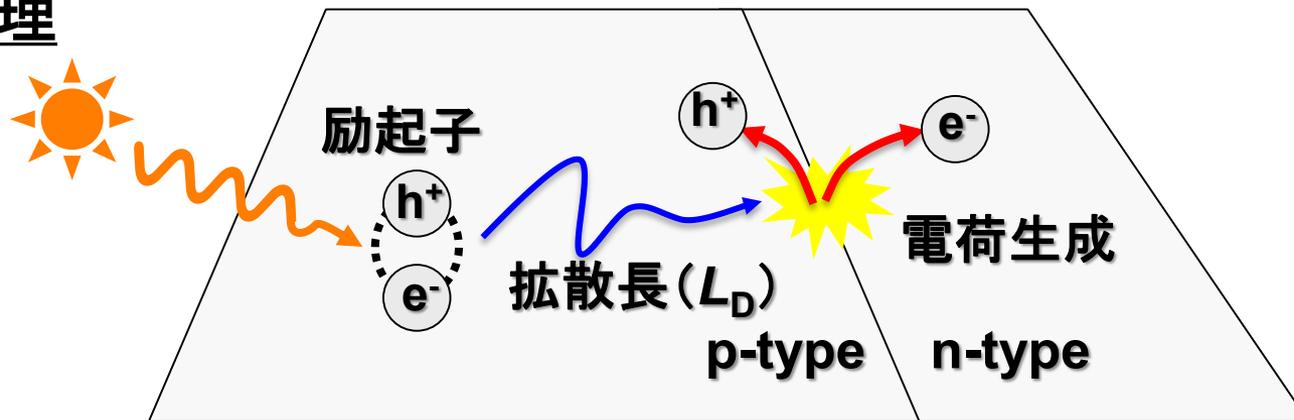
高分子系有機半導体



スピコートで作製

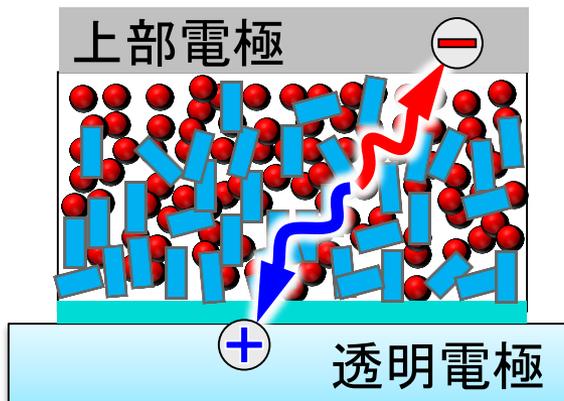
素子特製の律則要因

発電原理

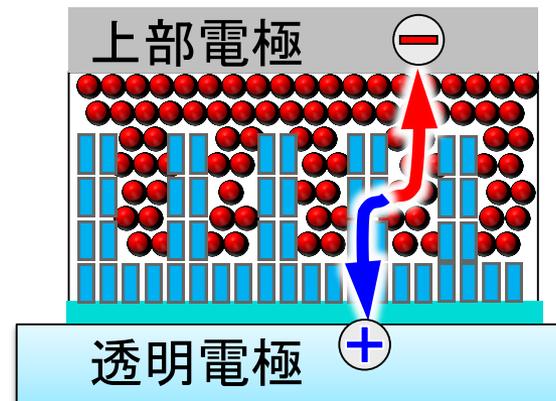


バルクヘテロジャンクション(BHJ)

現行の構造



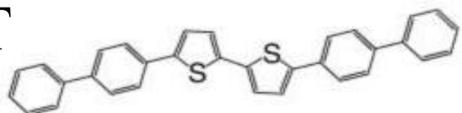
理想的な構造



自己組織化テンプレート層

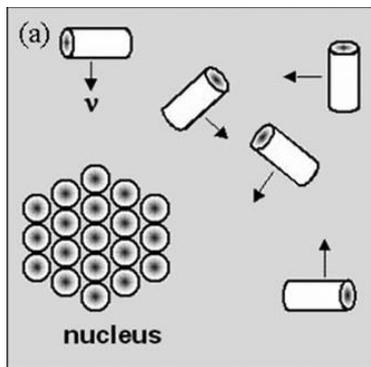
バッファー層

BP2T



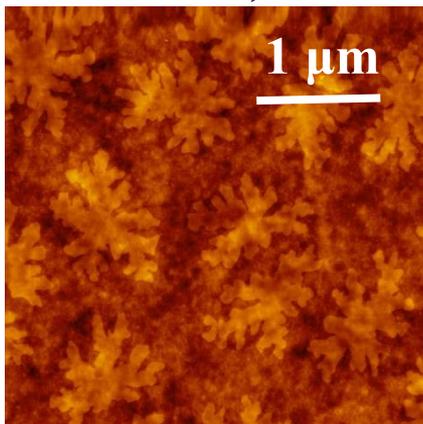
2,5-bis(4-biphenyl)thiophene

自己組織化して規則構造を形成

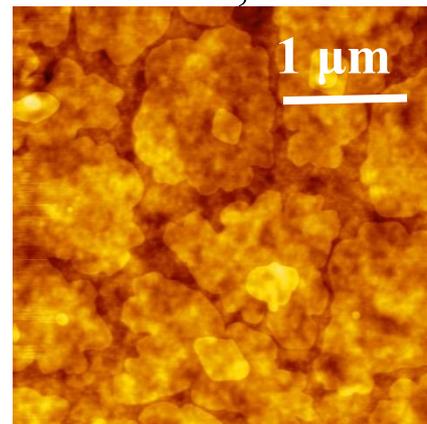


Chem. Soc. Rev. **38**, 2634 (2009).

0.05 Å/s, 2nm



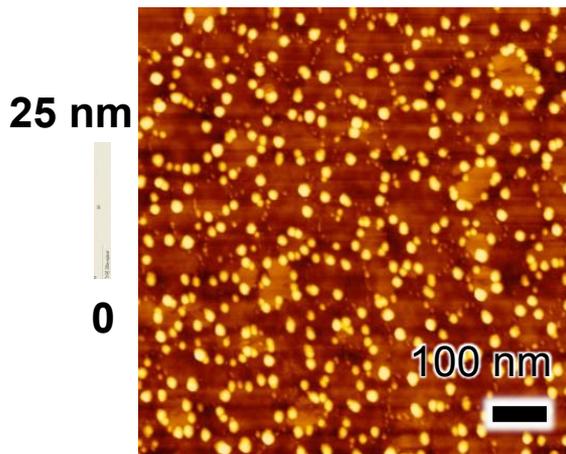
0.05 Å/s, 5nm



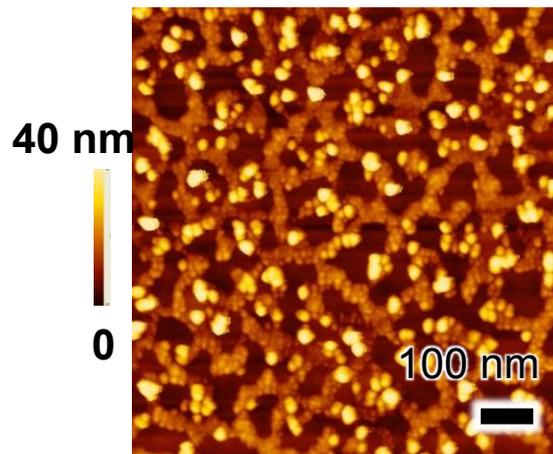
0 15nm

BP2T上への共蒸着

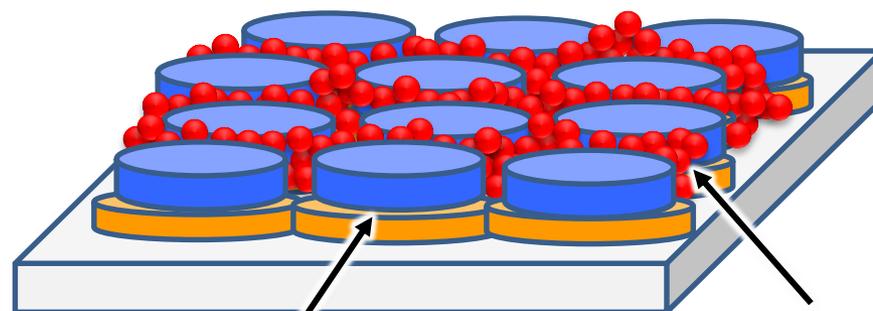
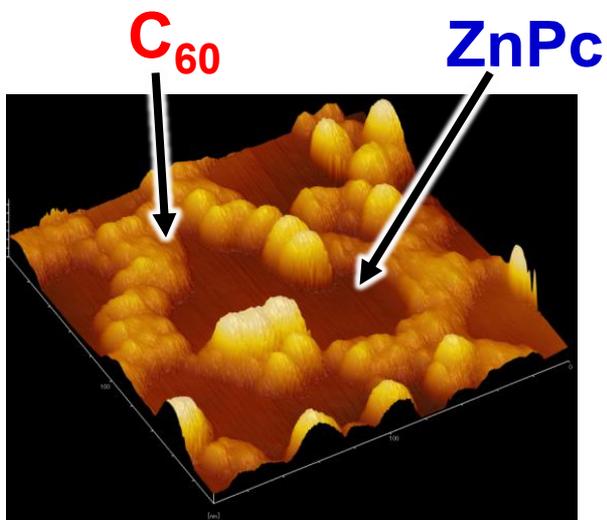
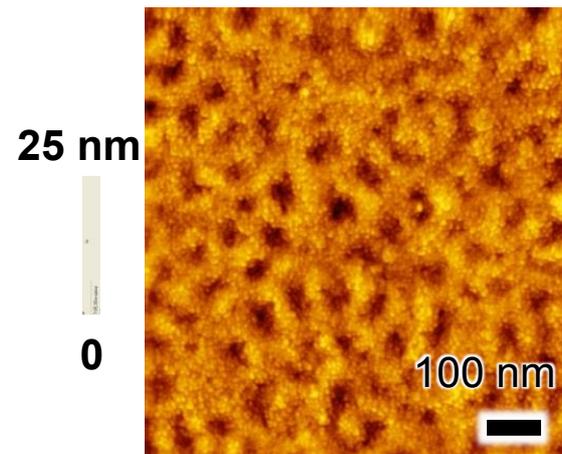
膜厚 2 nm



膜厚 10 nm



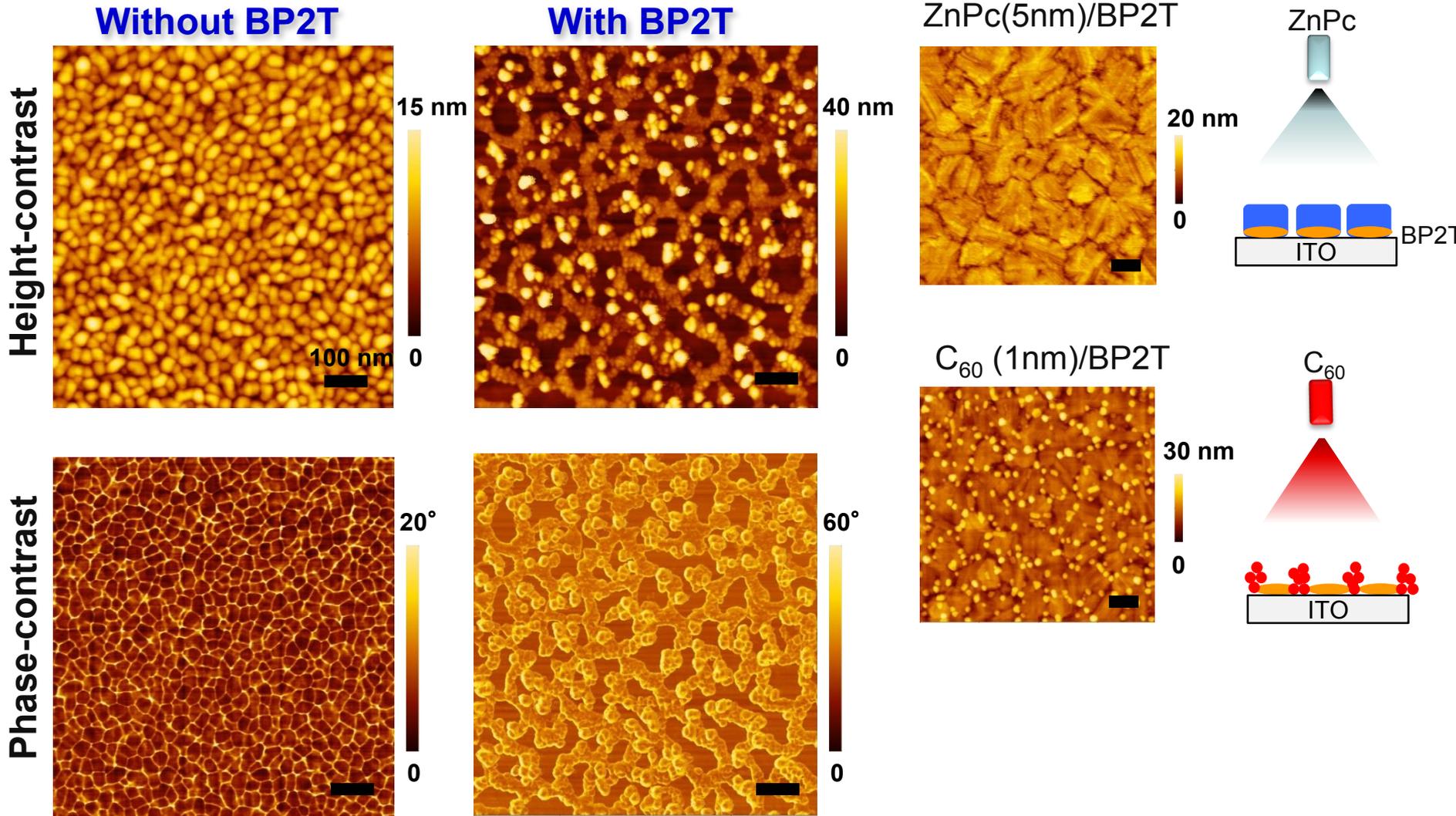
膜厚 40 nm



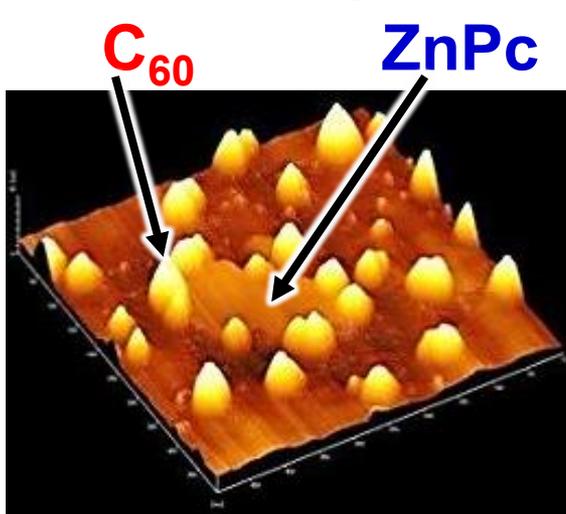
ZnPcは
テンプレート上に成長

C₆₀は
隙間に成長

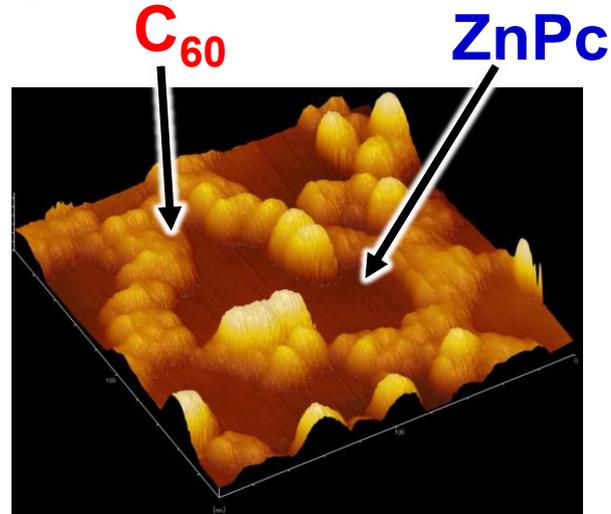
相分離構造のAFM観察



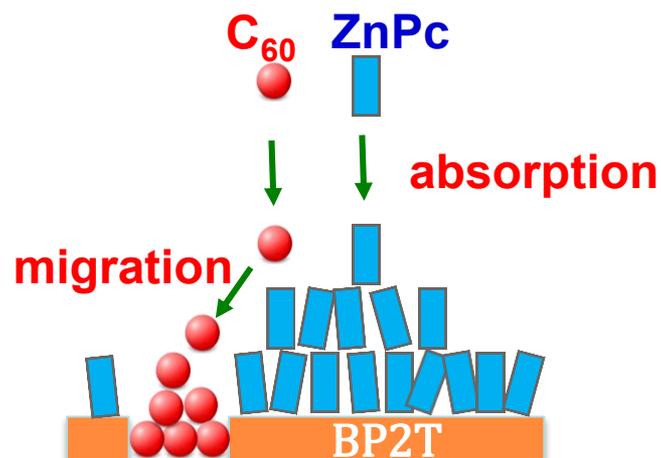
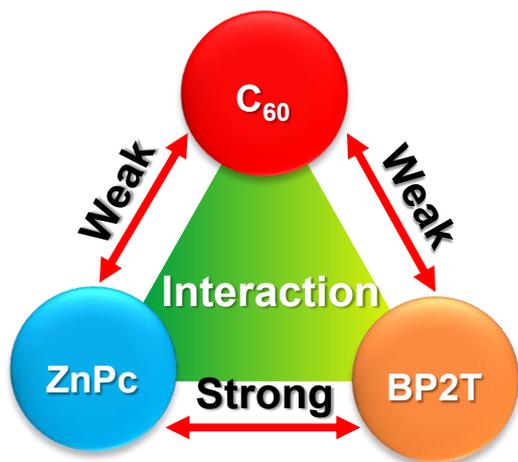
相分離の駆動力



膜厚 2 nm

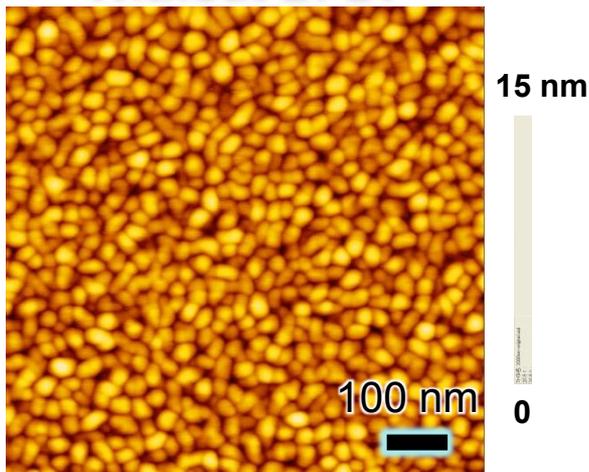


膜厚 10 nm



相分離膜の結晶性

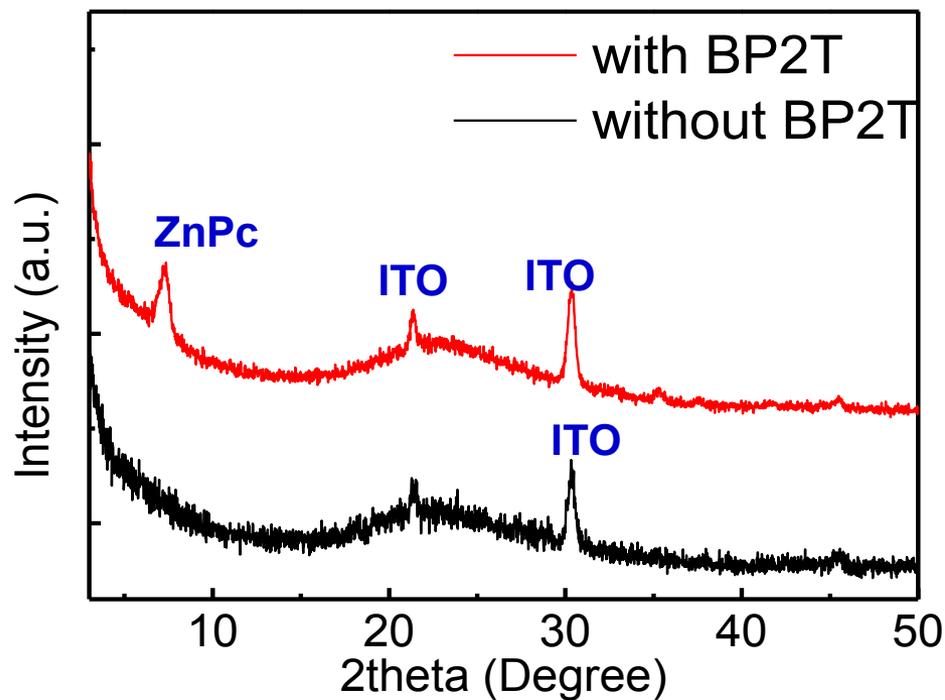
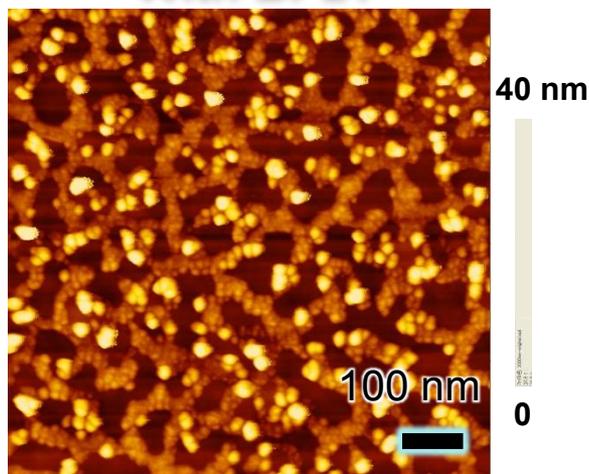
Without BP2T



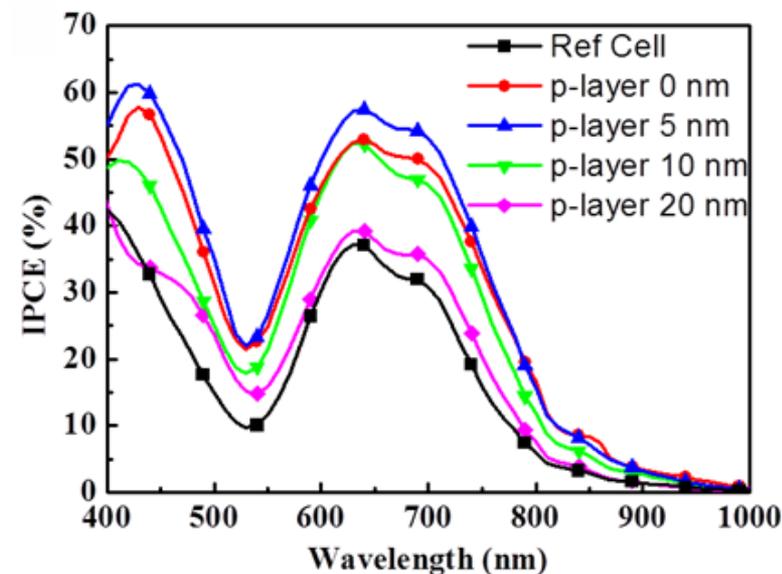
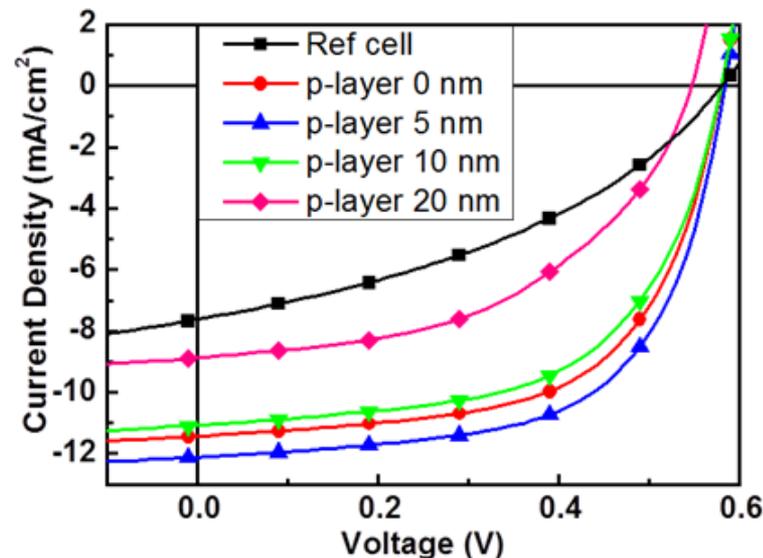
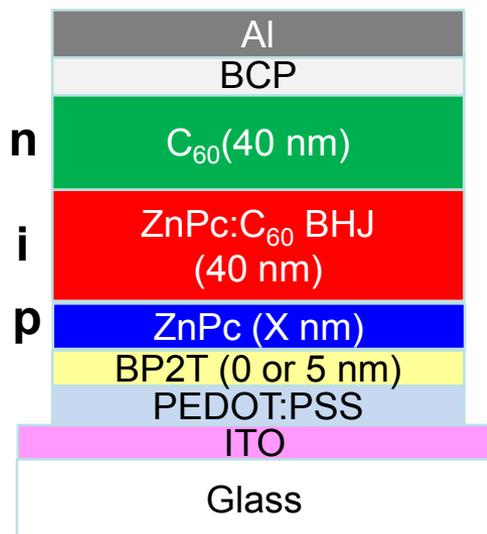
相分離構造
高結晶性

同時に達成

With BP2T



太陽電池特性



Cells	PCE (%)	Jsc (mA/cm ²)	Voc (V)	FF
No BP2T	1.85	7.58	0.58	0.42
ZnPc(0 nm)	3.93	11.46	0.58	0.59
ZnPc(5 nm)	4.15	12.13	0.58	0.59
ZnPc(10 nm)	3.66	11.05	0.58	0.57
ZnPc(20 nm)	2.39	8.84	0.55	0.49

まとめ

有機ヘテロエピタキシー

共蒸着の構造制御

ドナー／アクセプター相分離

高結晶性

制御された薄膜構造によって特性向上